

# 新春青年座談会

# いま青年の出番

# つながり、学び、成長

教育現場は、今規模は世代交代期を迎えています。この間青年教職員が増え、職場活動とともに、教育、学校への関心も、青年教職員が中心となって活躍する時期が来ている。次代を担う4人の青年教職員に教育の現場や苦勞・悩み、青年フェスタのこころ、子どもと教育、職場をまわるとのめぐりめぐりについて語ってもらいました。(司会は大教組情勢部)

## 子どもの成長が励み



西岡 健司さん (大阪狭山・七小)

●青年フェスタ実行委員長  
●現在5年担任、教職4年目

司会 新年あけましておめでとうございます。まずは、書のおみなさんに教育活動の喜びや苦勞・悩みについて、お話ししていただきます。

松本 3年連続して6年を担任しています。修学旅行など大変行事が多く、日帰りの授業準備などに時間がないのが悩みです。つい最近懇話会で、子どもが私の姿を見て、将軍学校の先生になりたがるという話を聞いたことがありました。

金藤 現任校は生徒が大変活発で、生徒も活動も活発です。生徒たちがお互いの長さを認め合いながら成長していく姿を実感できたとき、最高にうれしかったです。今までは生徒指導が大変困難な職場を経験したの

## 声に出すことが大事

西岡 今年5年担任で、学年3クラスとも20代から30代の若い教師です。子どもとの関係づくりに苦勞が多く、手探りの状況が続いています。でも、朝の読み聞かせや授業の中で、子どもたちが真剣に聞いてくれる姿に出会えたときは本当に嬉しかったです。子どもたちのそうした姿が明日へのモチベーションです。

和田 幼稚園で初めて3歳児学級を担当しています。とにかくかまっています。毎日子どもと格闘しています。

松本 特に星教職員は遅まき遅まきで、厳しいですが、厳しい就職試験を勝ち抜いてきた子どもたちも、そのことをあまり異端とは思わない状況もあるのではないかと。権利や労働条件の問題についても、自分たちが勝つてきた経験があるので、あって当たり前、ほっておけばいいという感覚もなくなってきています。でも、広い視野での教育や働き方を考えるのは、やはり奪われているのではと危機感を感じています。

金藤 勤めて7年経ちますが、新年度も、毎年賃



つながりが増え、仲間とともに成長しあえる年にと語る青年教職員

## あけましておめでとうございませう

今年も激動の年になります。しっかりと元氣よく、教育を前進させる目標です。この間、新学力観、中学校選択教科、「心のノート」など、新たな前進へ、いっしょの共同をすすめる一年になります。

3つは、府政を転換する展望です。橋下知事になつて「ハコ」が良くなったという回答は0% (読売・12月)です。「存在が意識を規定」します。必ず、府民は立ち上がります。しっかりと確信をもち、情勢を前向きに動かす一年にしていきましょう。

## 教育の前進へ、情勢を大きく動かそう



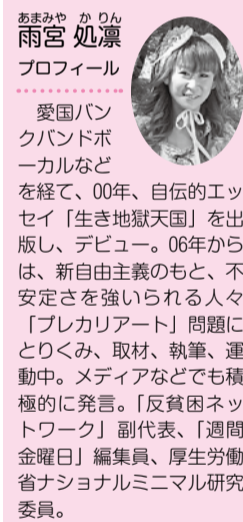
大教組中央執行委員長 田中 康寛

な成長と発達を大切にすべし、私たちがたかひと憲法の方が、不当な攻撃をはね返してきます。教育費無償化、30人学級・教職員定数増など、新たな前進へ、いっしょの共同をすすめる一年になります。

3つは、府政を転換する展望です。橋下知事になつて「ハコ」が良くなったという回答は0% (読売・12月)です。「存在が意識を規定」します。必ず、府民は立ち上がります。しっかりと確信をもち、情勢を前向きに動かす一年にしていきましょう。

## 青年フェスタ全体会議講師 雨宮処凛さんからメッセージ

## 「生きづらいこの国の希望、を語る」～教育は格差を超えられるか～



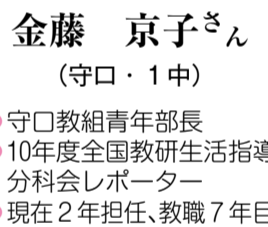
雨宮 処凛さん (山口・1中)

●山口教組青年部長  
●10年度全国教研生活指導分科会レポーター  
●現在2年担任、教職7年目

希望という言葉は、今の時代に扱いが難しい言葉はないかと思う。最近話したある若者の希望は「年収20万円が稼げるようになること」だった。20代前半の彼らはネットカフェ難民、実家は生活保護世帯で経済的に困窮することもできず、現在は契約社員として働けるが月10万円ほど稼いでいる。そんな彼の希望は「年収20万円」なのだ。一方で、大学生の就職も過酷さを増している。数少ない「安定」の椅子を巡って人生をかけて椅子とりゲームをさせられ、人を蹴落とされながら多くの若者が殺戮されている。しかし、そんな状況に異議を唱える学生たちも現れた。11月9日、東京、大阪、愛媛で、大学生たちによる就職に異議を唱えるデモが開催されたのだ。

学生たちは「もう疲れた」「競争を止めるな」「就職のバカヤロー！」と声を上げ始めた。ただ普通に働きたいだけ、普通に暮らしたいだけ。若者たちが口を揃える。そんな当たり前のさやかな希望が叶えられない国であってほしいと思うのと同じく、先代には「悪いのはあなたではない」といって、この社会システムにも大きな欠陥があるのだというのを伝えてほしい。若者たちは、大人が思うよりもずっとずっと自分を責めている。

## 3つの「あい」をみんなで共有



金藤 京子さん (山口・1中)

●山口教組青年部長  
●10年度全国教研生活指導分科会レポーター  
●現在2年担任、教職7年目

西岡 今、雨宮さんの本を読んでいます。今までの出た意見の問題もふまめ、とにかくおかしなことばかりと声を上げていくことが大事ではないか。日本の教師はあんな意味では本当にすごいです。あれだけ長時間働いてがんばられるのはなぜか。諸外国の教育関係者が驚いているんです。確かに日本の教職員の働き方、多くの人の労働観のなかに多岐にわたる面があります。それが変な方向に流れたらだめだ。こういうことを考える必要があると思います。私自身、労働条件や権利などの問題は、周りの人に「繕ってほしい」と思っている。自分も言いたくない状況です。

和田 自分が我慢すればいいという意識がわりと強いです。自分



松本 洋介さん (高槻・清水小)

●大教組青年部長  
●現在6年担任、教職5年目  
●青年フェスタ事務局担当

金藤 学生時代からやっている演劇活動に、わえ、3年前から漫才もやっています。仕事(教育)も含め、何事も楽しむこと、楽しさが大事。明日への活力です。今年1年もそのことを大事に自分らしく、自分の持ち味をさらに磨きた



和田 優子さん (大阪市・三軒家西幼)

●青年フェスタ副実行委員長  
●現在3歳児担任、教職7年目



父母・教職員が教育署名集約集会 (12月10日東京にて)。全国から904万人 (大阪約58万人)を集約

## 広範な府民との共同で「府財政構造改革プラン」撤回へ

12月22日、府労組連はエルおおさかまで「府財政構造改革プラン」の撤回をめざす学習決起集会を開催。集会では、二宮厚美神戸大学教授の講演と府民・職場代表の報告が行われ、参加者全員で学習とたかう意思統一を行いました。

「大阪都構想は実現性のない幻想」講演では、この間の菅政権が「国家公務員の人員費削減」といながら、全国的なたたかひと力関係で実際は人事院勧告以下には削減できなかった状況にもふれ、大阪での橋下「大阪維新」の幻想と欺瞞を徹底的に批判。その本質を広く知らせ、府民的なたたかひを、橋下独裁体制に歯止めをかけることの重要性が強調されました。

各分野からは、府営住宅半減問題や障害者・弱者いじめの問題、さらには府高教職場から事務職員削減問題などでのとり組みが報告され、1月山場がたたかひへの決意が交流されました。

撤回と評価・育成システム撤回に向け、緊急の教職員署名を推進します。1月19日の府庁包囲行動、決起集会成功に向け職場からの寄せ書きなどたたかひをいっしんに全力で奮闘します。



## 力を合わせ大きなたたかひを

大教組は、給与制度改革・賃金カット延長

府民宣伝、署名集約決起集会に全力

1・19 許すな！給与制度改革・賃金カット延長 府庁包囲行動・府労組連決起集会

16時～ 府庁包囲・要請行動 (府庁南玄関周辺)

18時45分～ 府労組連決起集会 (府庁正面玄関横駐車場)

## 国の制度として35人学級(小1)実現へ この運動を確信に、さらなる教育の前進を

11年度政府予算案が閣議決定され、小学校1年生での35人学級実現の方向が明らかになりました。30年ぶりの学級編成基準の改善は、これまで積み上げてきた教育全国署名をはじめ、ゆきといた教育をねがう運動によって作り出された貴重な一歩です。

同時に、当初計画(1・2年実施計画)から後退しての初年度実施。教職員数でも35人学級に必要な4000人の定数増は、現在の加配定数1700人の活用と退職等の自然減(2000人)を含めると、純増はわずか300人となっていることなど多くの課題を残しています。

今後も、初年度分の確実な実施と引き続き計画の進展と充実に向け、いっそう運動と世論を高めることが求められています。

青年フェスタへ行こう

2月19日(土)・20日(日) 箕面観光ホテル

待ってま〜す!

青年フェスタ実行委員会

実技講座 多彩な講座

- ①とっておきネタ100選発表
- ②レクリエーション
- ③子どもと絵本を讀もう
- ④書道
- ⑤ウクレレ
- ⑦カットを生かした学級通信
- ⑧わくわく理科実験
- ⑨大阪
- ⑩作文
- ⑪マツト運動
- ⑫折り紙

詳細はチラシ参照